

OQ との共同事業実施の協定書締結  
オマーン OQ での蒸気システム最適化プログラム  
(Steam System Optimization Program: SSOP) のパイロット事業

JCCP は、令和 5 年 5 月 9 日、オマーン国の OQ と「オマーン OQ での蒸気システム最適化プログラム (SSOP) のパイロット事業」について、OQ の Mr. Kamil Al Shanfri - Managing Director OQ RPI & Plastics Downstream、JCCP 朝武直樹上席参与による事業実施協定書 (Memorandum of Understanding) の調印式を開催しました。

調印式には OQ、並びに JCCP の関係者をはじめ、共同事業の参加会社であるテイエルブイインターナショナル株式会社の見田哲也執行役員他、事業関係者約 20 名が出席しました。

カミル・アルシャンフリ常務はスピーチの中で当事業への日本からの支援に対する謝意と OQ 製油所での当事業がオマーンの目標としている 2050 年ネットゼロへ貢献することへの期待が述べられました。

JCCP はオマーンで 1996 年以降、20 のプロジェクトを実行してきました。本事業はオマーンでの初の SSOP プロジェクトであり、SSOP の有効性を示し、将来的には SSOP の水平展開も視野に入れているものです。本事業の推進により、OQ の競争力強化に寄与することが期待されます。なお、本事業の実施期間は 2023 年度から 2025 年度までを予定しています。

【調印風景】



【調印後】

